

# 「第13回 浜松市調べ学習コンクール」審査結果について

中央図書館

## 1 開催趣旨

図書館の本やインターネット等様々な情報を使って、日常生活や学習上の疑問点を考え、解決を導く「調べ学習」の研究レポートを募集し、その努力や工夫を評価することで、調べ学習の振興を促す。これにより、小学生の「問題発見・解決能力」や「情報活用能力」等、新しい時代に求められる資質・能力を養うとともに、図書館利用の促進を図る。

2 主 催 浜松市、浜松市教育委員会

3 後 援 公益社団法人浜松青年会議所、公益財団法人図書館振興財団

4 対 象 浜松市内の小学3～6年生

5 審査員 浜松市退職校長親和会及び主催、後援団体から選出した13人  
(うち一人は審査委員長)

## 6 応募数

(1) 応募学校数 91校

(2) 応募点数 2,668点

学 年	応募人数
3年生	524人
4年生	642人
5年生	719人
6年生	783人

## 7 表 彰

市長賞、教育長賞、中央図書館長賞 各1人

優秀賞 各学年2人 計 8人

優良賞 各学年3人 計12人

奨励賞 各学年5人 計20人

学校賞 5校

## 8 表彰式

(1) 日 時 令和3年10月31日(日) 午前10時～11時

(2) 会 場 浜松市教育会館 大会議室

## 9 作品傾向

- ・郷土関係(お茶、ウナギ、浜松餃子、浜松城、徳川家康、浜名湖)
- ・生き物(犬、昆虫、恐竜、鳥)
- ・からだや病気(新型コロナウイルス、寿命、心臓、認知症、味覚)
- ・自然、災害、防災(宇宙、河川、地震、地球温暖化、環境問題、星座)
- ・社会と福祉(ピクトグラム、特定の職業について、点字、ヘアドネーション)
- ・スポーツ(オリンピック、パラリンピック、各スポーツの歴史や上達のコツ)
- ・歴史と文化(戦争、歴史上の人物、各地の史跡)
- ・国際理解や地理(SDGs、特定の国の暮らしや歴史、特定の都道府県の特徴や特産品)

## 10 全国コンクールへの出品

市長賞、教育長賞、中央図書館長賞、優秀賞、優良賞の計23点は、全国コンクールの三次審査に出品。

## 上位三賞受賞作品のあらましと評価について

**市長賞**

作品名「アカウミガメ」

浜松市立浅間小学校6年 嶋野 響

(作品あらまし)

絶滅危惧種に指定されているアカウミガメのことを知るために、市内で開催された「アカウミガメの保護調査活動」に参加。その際、アカウミガメの生態の謎やアカウミガメに迫っている危機を知り、調べ学習のテーマとなった。生態や祖先についての知識を得た後、絶滅危惧種になった理由を調べていくと、産卵場所である遠州灘海岸は他の地域より先に、アカウミガメを見ることができなくなってしまうかもしれないという深刻な状況を知る。その理由について砂浜に着目して調べをすすめた。調べたこと、体験したことをたっぷりと盛り込みながらも、わかりやすいレイアウトにつとめ、非常に完成度の高い作品となっている。

(評価)

情報発信力が素晴らしい作品。写真・絵・図が効果的に使われ、学んでいる過程がとてもよくわかる。最後までしっかりまとめあげているため、読み手を飽きさせない作品である。

**教育長賞**

作品名「秋葉山常夜燈について調べる 浜松市編 (パート3)」

浜松市立中瀬小学校6年 塩澤 智弓

(作品のあらまし)

近所で見かける、石でできていて夜になるとあかりが灯る「常夜燈」。4年生の時に、どんな役割なのかを調べ、自分の住む「中瀬地区」の常夜燈を訪ねてまとめ、5年生では調査範囲を浜北区内に広げた。今年は浜松市内の常夜燈の調査に挑戦。実際にひとつひとつ常夜燈を調べ、写真を撮り、ExcelやGoogleマップを利用して種類ごとの分布図も作った。地道にコツコツと調べて蓄積した多くの情報を、熱意をもってまとめ、保存の必要性についても言及した。

(評価)

地域の常夜燈について調べたという視点がよい。常夜燈について実地検分を織り込みながら上手にまとめている。写真・図など効果的で、データをうまく扱えているのもわかる。

**中央図書館長賞**

作品名「ふしぎいっぱいコウモリのひみつ」

浜松市立篠原小学校3年 山下 瑞喜

(作品のあらまし)

夏に家に来るコウモリ。壁の隅に逆さでぶらさがっているけれど、逆さだとウンチをしたら顔についちゃう?!コウモリってどんな生き物なのか知ってみたい!というのが調べ学習のきっかけ。コウモリの生態を図書やインターネットで調べた後は、森や自宅などでの調査をはじめ。調査の際の道具の作り方も調べ、自作して観察に臨む。コウモリの食べ物や飛び方など多く学ぶとともに、コウモリと人間を比べて違いをまとめるなどして、コウモリのひみつをじっくり探った作品。

(評価)

身近な観察から調べ学習をはじめたのが良く、調べるために様々な道具を揃え、実験や体験が豊富。調べた量自体も多い。コウモリと自分を比べてみたりしているところも面白い。